

デルタ株の感染拡大の影響を受ける米国景気

ポイント① ISM景況感指数は高水準を維持

8月の米ISM（サプライマネジメント協会）製造業景況感指数は、事前の市場予想に反し、前月より0.4ポイント上昇する結果となりました。新規受注や生産が同指数の上昇をけん引した反面、受注残の上昇や雇用の低下は、長期化する「供給制約」の実態を浮き彫りにしています。後日発表された非製造業景況感指数は、前月からは2.4ポイント低下するも、依然として高水準での推移となりました。一方で同指数の低下は、新型コロナウイルスのデルタ株の拡大が、外食や旅行等のサービス需要を抑制しつつある状況を示唆しており、今後はデルタ株の感染状況が景況感を左右する見通しです。

米ISM景況感指数と
コンファレンスボード消費者信頼感指数



期間：2005年1月～2021年8月、月次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

ポイント② 消費者信頼感指数は大きく低下

8月のコンファレンスボード消費者信頼感指数は、6か月ぶりの低水準となりました。デルタ株の感染拡大のほか、食品やガソリン価格の上昇が消費者心理に影響を与えているようです。

米国の失業率と非農業部門就業者数

	失業率 (%)	労働参加率 (%)	非農業部門就業者数 (万人)	
			総数	前月比増減
2020年				
8月	8.4	61.7	14,115	158.3
9月	7.8	61.4	14,187	71.6
10月	6.9	61.6	14,255	68.0
11月	6.7	61.5	14,281	26.4
12月	6.7	61.5	14,250	-30.6
2021年				
1月	6.3	61.4	14,274	23.3
2月	6.2	61.4	14,327	53.6
3月	6.0	61.5	14,406	78.5
4月	6.1	61.7	14,433	26.9
5月	5.8	61.6	14,494	61.4
6月	5.9	61.6	14,590	96.2
7月	5.4	61.7	14,696	105.3
8月	5.2	61.7	14,719	23.5

(注) 労働参加率=労働力人口/生産年齢人口
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

ポイント③ 雇用統計は予想外の伸び悩み

8月の米雇用統計によれば、非農業部門の就業者数は前月比23.5万人の増加となり、ロイターがまとめた事前の市場予想73万人を大幅に下回りました。デルタ株の感染拡大に伴い、飲食や娯楽などの接客業を中心に、採用を控える動きが広がったことが要因とみられます。一方、足元での飲食店の営業状況は改善が続いており、今回の雇用減速は一時的との見方もあるようです。

マーケットの反応としては、米10年債利回りは上昇、株は小動き、為替はやや米ドル安となっており、まちまちの動きだったように、市場関係者も判断しかねているようです。

**重要
イベント**

- 9月14日 米消費者物価指数 (8月)
- 9月15日 米鉱工業生産指数 (8月)
- 9月16日 米小売売上高 (8月)